

第2回広島県障害者陸上競技大会

兼 第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ! おおいた大会」広島県代表選手選考会

実施要項

- 1 目的 広島県内における障害者のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じて参加者との交流を深めるとともに、体力の維持・増進を図り、障害者スポーツの普及に努める。
- 2 主催 広島県 広島県障害者社会参加推進センター 社団法人広島県身体障害者団体連合会
社団法人広島県手をつなぐ育成会 広島県知的障害者福祉協会
社会福祉法人広島県福祉事業団（広島県障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター）
- 3 主管 広島県障害者陸上競技大会実行委員会
- 4 後援（予定） 財団法人広島陸上競技協会 広島県議会 広島県教育委員会 社会福祉法人広島県社会福祉協議会
広島県市長会 広島県町村会 東広島市 東広島市陸上競技協会 東広島市教育委員会
社会福祉法人東広島市社会福祉協議会 中国新聞社 社会福祉法人中国新聞社会事業団
NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ 広島ホームテレビ テレビ新広島
- 5 協力（予定） 東広島市陸上競技協会 広島大学体育会陸上競技部
広島県立西条農業高等学校陸上競技駅伝部 広島県立賀茂高等学校陸上競技部
近畿大学附属東広島高等学校 広島県立黒瀬高等学校 広島大学教育学部・総合科学部
広島国際大学医療福祉学部 呉大学看護学部 公認障害者スポーツ指導者 登録ボランティア
- 6 協賛（予定） コカ・コーラウエストジャパン株式会社
- 7 日時 平成20年5月11日（日） 9:20~16:00（予定）
8:20~ 9:10 受付（陸上競技場正面入口）
9:20~ 9:40 開会式
10:00~15:30 競技
15:40~16:00 閉会式
※雨天決行（雨具などは、参加者で用意する）
（ただし、当日広島県内に大雨・洪水・雷雨のいずれかの警報が発令された場合は中止とする）
- 8 場所 東広島運動公園陸上競技場（アクアパーク）
〒739-0036 東広島市西条町田口67-1
- 9 参加資格 ① 平成20年4月1日現在、13歳以上で広島県内に在住する身体障害児・者並びに知的障害児・者。ただし、広島市に在住の者は参加できないこととする。
② 身体障害児・者は、身体障害者手帳の交付を受けた者。
③ 知的障害児・者は、療育手帳の交付を受けた者。あるいは、医師の診断等により競技に出場が適当と認められた者であること。
④ 内部障害者の参加はぼうこう又は直腸機能障害の者とする。
- 10 競技種目等 別紙の障害区分・種目表（No. 1・No. 2）のとおりとする。（全国障害者スポーツ大会競技規則改正のため、種目、障害区分において変更点がある。本大会も準じて開催するので必ず確認すること）
1人2種目まで出場できることとする。（ただし、4×100mリレーに出場する選手は3種目まで出場することができる。）※障害区分により参加できる競技種目が限られている。

- 11 競技方法 ① 原則として、障害区分ごとに競技種目を行うが、参加申込み状況によっては他の障害区分の者と競技種目を行うことがある。
② 別紙の地区・地域一覧表のとおり、県内を7地区に分け、地区別対抗によって、得点（各競技種目・障害区分・年齢区分・男女毎に、1位が5点・2位が3点・3位が1点）を競う。

- 12 競技規則 日本陸上競技連盟競技規則に準じ、全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会申し合わせ事項に基づいて行う。

- 13 申込み方法 所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ、平成20年4月8日（火）までに、持参・郵送・FAX・Eメールのいずれかの方法で申し込むこと（必着）。
参加申込書は実施要項添付のものを使用するか、ホームページからダウンロードすること。（FAX・Eメールの場合は、必ず着信の確認を行うこと）
※ 参加費は無料。

【申し込み先】

〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3
スポーツ交流センター
TEL 082-425-6800 FAX 082-425-6789
ホームページ <http://www.rehab-hiroshima.gr.jp/Oridsuru/index.htm>
Eメール oridsuru@rehab-hiroshima.gr.jp

- 14 表彰 ① 身体障害児・者は各競技種目・障害区分・年齢区分・男女毎に、1位から3位を決定し、賞状とメダルを授与する。
② 知的障害児・者は各組別で1位から3位を決定し、賞状とメダルを授与する。
③ 記録証は発行しない。
④ 地区別の得点を合計し、総合得点で1位から3位を決定し、1位には優勝旗と賞状を、2位及び3位にはカップと賞状を授与する。

- 15 留意事項 ① この大会は10月に大分県で開催される第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ！おおいだ大会」の広島県代表選手選考を兼ねて実施する。
② 大会当日の傷害保険には主催者において加入するが、参加にあたっては、医師の診察を受けるなど、自己の責任において健康と安全には十分留意すること。（応急処置しかできない）
③ 昼食は、各自で用意すること。昼食代及び参加に係る交通費は自己負担。
④ 当日は、隣接する多目的広場をウォーミングアップ場として使用できないので留意のこと。
⑤ 大会当日、テレビ、新聞等の報道機関が来場することが予想され、選手の氏名、写真、映像がテレビ、新聞等で報道されることがある。また、大会プログラム、大会報告書及び当交流センター機関誌等に掲載するので、このことも了承のうえ申し込むこと。

第2回 広島県障害者陸上競技大会(身体障害者)

参加申込書

ふりがな				性別	男・女
氏名				年齢	歳
生年月日	大・昭・平	年	月	日	(平成20年4月1日現在)
住所	〒				
	TEL			FAX	
身体障害者手帳	県・市 第 号 級 種				
障害の原因となっている傷病名等					
障害名	《手帳に記載されているとおり全文を記入してください》			障害区分番号	
				《障害区分・種目一覧表を参照してください》	
障害区分	《該当するところに○をしてください》				年齢区分
	肢体(1)	肢体(2)	視覚	肢体(3)	肢体(4)
	聴覚	内部	手話通訳	必要	不要
	必要	不要	要約筆記	必要	不要
補装具 (競技中使用する)	《該当するところに○を記入してください》				
	歩行杖等	杖 松葉杖(1本) 松葉杖(2本) クラッチ(1本) クラッチ(2本)			
	車椅子	・片手駆動 ・両手駆動 ・上下肢駆動(片手片足・前向) ・電動 ・上下肢駆動(片手片足・後向) ・足駆動(後向) ・足駆動(前向)			
	義肢・装具	(名称を記入してください)			
エントリー 確認事項	《該当するところに○を記入してください》				
	ガイドランナー(障害区分24, 25のみ記入)	有・無	ガイド名		
	スターティングブロック	使用・不使用			
	競技用スパイクの使用	使用・不使用			
	介助者の競技場内への同伴	有・無			
参加希望 競技種目	第1種目		第2種目		
	自己記録		自己記録		
※決定	第 1	第 2	ナンバーカード		

* 大会当日の傷害保険については主催者において加入するが、参加に当たっては各選手において医師の診断を受けるなど自己の責任において健康と安全に十分留意すること。

- 参加できる競技種目は、障害区分・年齢区分・男女毎により限られています。「参加申込時の注意事項」「障害区分・種目表(No.1・No.2)」で確認のうえ、記入してください。
- 障害名は、身体障害者手帳に記載されているとおり正確に記入してください。
- 「エントリー確認事項」に○の記入がない場合は、不使用(無)として扱います。
- ※欄は、記入しないでください。

第2回広島県障害者陸上競技大会(知的障害者)

参加申込書

ふりがな						性別	男・女
氏名							
生年月日	大・昭・平	年	月	日		年齢	歳 <small>(平成20年4月1日現在)</small>
住所	〒						
	TEL				FAX		

療育手帳	1 有	2 無		《該当区分に○をしてください》			
障害区分番号			年齢区分	1 少年(19歳以下)			
				2 青年(35歳以下)			
				3 壮年(36歳以上)			
	《該当するところに○を記入してください》						
エントリー 確認事項	スターティングブロック			使用・不使用			
	競技用スパイクの使用			使用・不使用			
	介助者の競技場内への同伴			有・無			
参加希望 競技種目	第1種目			第2種目			
	自己記録			自己記録			
	第3種目			第3種目は4×100mリレーにエントリーする場合に限り記入してください			

団体名				担当者名			
連絡先	TEL			FAX			

※決定	第 1	第 2	ナンバーカード

- * 大会当日の傷害保険については主催者において加入するが、参加に当たっては各選手において医師の診断を受けるなど自己の責任において健康と安全に十分留意すること。
- 1 参加できる競技種目は、障害区分・年齢区分・男女毎により限られています。「障害区分・種目表(No.1・No2)」で確認のうえ、記入してください。
 - 2 療育手帳は、「有」は手帳交付申請中の場合を含み、「無」の場合は取得の対象に準ずる場合を含みます。
 - 3 エントリー確認事項に○の記入がない場合は、不使用(無)として取り扱います。
 - 4 ※欄は、記入しないでください。

第2回広島県障害者陸上競技大会

知的障害者参加記録目標

	50m		100m	
	男子	女子	男子	女子
少年の部	12秒	14秒	21秒	25秒
青年の部	12秒	14秒	21秒	25秒
壮年の部	14秒	14秒	23秒	25秒

	200m		400m	
	男子	女子	男子	女子
少年の部	45秒	1分20秒	1分40秒	2分30秒
青年の部	45秒	1分20秒	1分40秒	2分30秒
壮年の部	50秒	1分20秒	1分50秒	2分30秒

	800m		1500m	
	男子	女子	男子	女子
少年の部	4分30秒	5分30秒	8分	10分
青年の部	4分30秒	5分30秒	8分	10分
壮年の部	4分30秒	5分30秒	8分	10分

	走幅跳		立幅跳	
	男子	女子	男子	女子
少年の部	3m00cm	2m30cm	1m50cm	1m30cm
青年の部	3m00cm	2m30cm	1m50cm	1m30cm
壮年の部	2m40cm	2m00cm	1m40cm	1m20cm

	走高跳		ソフトボール投	
	男子	女子	男子	女子
少年の部	80cm	70cm	45m	40m
青年の部	80cm	70cm	45m	40m
壮年の部	70cm	70cm	30m	25m

第2回広島県障害者陸上競技大会(知的障害者)

リレー種目参加申込書

団 体 名		担当者名	
連 絡 先	(TEL) _____ (FAX) _____		

種 目 名	選 手 名			他の出場種目
4×100mリレー (男女混合)	1	ふりがな		性別
		氏 名		男 ・ 女
	2	ふりがな		性別
		氏 名		男 ・ 女
	3	ふりがな		性別
		氏 名		男 ・ 女
	4	ふりがな		性別
		氏 名		男 ・ 女
	5	ふりがな		性別
		氏 名		男 ・ 女
	6	ふりがな		性別
		氏 名		男 ・ 女

注意事項

- 1 6名以内の選手名を記入してください。
- 2 男女の比率については、特に定めはありませんが、男子または女子のみでの参加は認めません。
- 3 参加申込後の変更は認めません。
- 4 大会当日にリレーオーダー用紙を提出してください。

第2回広島県障害者陸上競技大会 障害区分・種目一覧表

NO. 1

1. 陸上競技区分・種目表

◎男女別・年齢区分別

△男女混合・年齢区分なし

障害区分	区分番号	障害内容	50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	4x100mリレー	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーンバック投		
			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
1	上肢	1 手部切断 片前腕切断 片上肢不完全 片上腕切断 片上肢完全		◎				◎				◎	◎	◎	◎	◎			
		2 両前腕切断 片前腕・片上腕切断 両上肢不完全		◎				◎			◎	◎	◎						
		3 両上腕切断 両上肢完全		◎				◎			◎	◎	◎						
	下肢	4 片下腿切断 片下肢不完全	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		5 片大腿切断 片下肢完全	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		6 両下腿切断	◎	◎								◎		◎	◎	◎	◎		
		7 片下腿・片大腿切断 両下肢不完全	◎									◎		◎	◎	◎	◎		
		8 両大腿切断 両下肢完全													◎	◎	◎		
	2	脳原性麻痺以外の 車椅子使用	9 体幹		◎								◎	◎	◎	◎	◎		
10 第6頸髄まで残存			◎	◎					◎									◎	
11 第7頸髄まで残存				◎	◎		◎	◎	◎										◎
12 第8頸髄まで残存				◎	◎		◎	◎	◎						◎	◎	◎		
13 下肢麻痺で座位バランスなし				◎	◎		◎	◎							◎	◎	◎		
14 下肢麻痺で座位バランスあり				◎	◎		◎	◎							◎	◎	◎		
脳原性麻痺（脳性麻痺・脳血管 疾患・脳外傷等）		15 その他車椅子		◎	◎		◎	◎							◎	◎	◎		
		16 四肢麻痺で車椅子使用	◎						◎									◎	
		17 下肢で車椅子使用（けて移動）	◎						◎									◎	
		18 上下肢で車椅子使用	◎						◎							◎	◎		
		19 上肢で車椅子使用		◎	◎		◎	◎							◎	◎	◎		
		20 その他走不能													◎	◎	◎		
3		21 上肢に不随意運動を伴う走可能		◎	◎				◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		22 その他走可能		◎	◎				◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎		
4		23 電動車椅子使用								◎								◎	
	視覚障害	24 視力0から光覚弁まで	◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎			
		25 視力手動弁から0.03まで 視野5度以内	◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎			
26 その他			◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎				
聴覚障害	27 聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能 障害、そしやく機能障害		◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎				
知的障害	28 知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎		△		◎	◎	◎		◎				
内部障害	29 ぼうこう又は直腸機能障害	◎						◎			◎	◎		◎	◎				

第2回広島県障害者陸上競技大会 障害区分・種目一覧表 No.2-1

1 年齢区分（平成20年4月1日現在）

障害種別	年齢区分
身体障害者	1部（13歳～39歳）
	2部（40歳以上）
知的障害者	少年の部（13歳～19歳）
	青年の部（20歳～35歳）
	壮年の部（36歳以上）

2 参加可能競技種目

障害種別	参加可能競技種目	
身体障害者	◎	1部・2部
知的障害者	◎	3年齢区分
	△	男女混合・年齢区分なし

3 身体障害者の障害区分（注意事項）

- ① 肢体不自由者の場合主として身体障害者手帳を基準とした障害区分である。したがって、運動機能の障害程度から区分される国際組織の障害区分とは異なる。
- ② 障害区分は、競技により異なっているが、身体障害者手帳との関係から、身体の形態的・機能的な視野に立った用語を多く使用している。
- ③ 障害または障害区分が重複している場合には、同一の障害または障害区分で参加しなければならない。
- ④ 肢体不自由の7級が重複して6級に認定されている場合は、いずれか一肢の障害として区分する。（両下肢が7級の切断の場合には片下腿切断に区分する）
- ⑤ 多肢切断や両上肢障害など、複数の部位の切断や機能障害がある場合は、3肢以上（多肢）や両上肢がそれぞれ6級以上の認定を受けていなければならない。（左上肢が7級で右上肢が6級などの場合は、片上肢障害として区分する）
- ⑥ 指および手のひらの切断は手部切断として、足部の切断は下腿切断として扱う。
- ⑦ 一側の手部切断も、両手の手部切断も「手部切断」として区分する。
- ⑧ 関節離断は、上位の部位の切断として扱う。（肘関節離断は上腕切断となる）
- ⑨ 両上腕切断者が片前腕切断の障害区分で参加する等、明らかに障害が軽度と思われる障害区分で参加することは認めない。
- ⑩ 完全とは、上肢や下肢の大きな3つの関節の機能が損傷を受け、補装具なしでは体重を支えきれないものをいう。
- ⑪ サリドマイドや骨形成不全などにより、前腕は正常でも上腕に障害があるような場合には、競技によっては、最も上位の障害部位（上腕）の切断として扱っても、機能障害として扱ってもよい。
- ⑫ 「車椅子常用」とは、日常生活で常に車椅子を使用していることをいう。また、「車椅子使用」とはスポーツの場面のみに車椅子を使用していることをいう。
- ⑬ 切断・機能障害の者が競技で車椅子を使用する場合は、「脳原性麻痺以外で車椅子使用」の「その他」の障害区分とする。
- ⑭ 脊髄損傷や脳原性麻痺以外で上下肢に障害のある車椅子（筋ジストロフィー症など）の区分は、残存機能や座位バランスなどに留意しながら、脊髄損傷の機能レベルの区分に応じて行う。
- ⑮ 脳原性麻痺とは脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障害をいう。
- ⑯ 視覚障害の視力は、両目の和ではなく、良い方の視力で判定される。また、視野は5度とそれ以上に区分される。

第2回広島県障害者陸上競技大会 障害区分・種目一覧表 No.2-2

■肢体不自由1

障害区分名				解説	
切断・機能障害	立位	上肢	切断	1 手部	手部の切断者
				1 片前腕	手関節の離断を含む片側の前腕の切断者
				1 片上腕	肘関節の離断を含む片側の前腕の切断者
				2 両前腕	両側手関節離断を含む両側の前腕の切断者
				3 両上腕	両上腕の切断者
				2 片前腕・片上腕	片前腕の切断及び片上腕の切断者
			機能障害	1 片上肢不完全	一側の肩・肘・手関節のうち一または二関節に機能障害がある者
				1 片上肢完全	一側の肩・肘・手関節のすべてに機能障害がある者
				2 両上肢不完全	両側の肩・肘・手関節のうち一または二関節に機能障害がある者
				3 両上肢完全	両側の肩・肘・手関節のすべてに機能障害がある者
		下肢	切断	4 片下腿	片足部の切断を含む片下腿の切断者
				5 片大腿	膝関節の離断を含む片大腿の切断者
				6 両下腿	両側の下腿の切断者
				8 両大腿	両側の大腿の切断者
				7 片下腿・片大腿	片下腿の切断及び片大腿の切断者
			機能障害	4 片下肢不完全	一側の股・膝・足関節のうち一または二関節に機能障害がある者
				5 片下肢完全	一側の股・膝・足関節のすべてに機能障害がある者
				7 両下肢不完全	両側の股・膝・足関節のうち一または二関節に機能障害がある者
				8 両下肢完全	両側の股・膝・足関節のすべてに機能障害がある者
				9 体幹	頸部・胸部・腹部及び腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障害が該当する)【注:四肢の機能障害を伴う場合は体幹の機能障害があってもこの区分には該当しない】

■肢体不自由2

脊髄損傷等	脳原性麻痺以外で車椅子使用	10 第6頸髄まで残存	肩関節周囲の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者(肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常)
		11 第7頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない)
		12 第8頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)
		13 下肢麻痺で座位バランスなし	「座位バランス」の判定は、「へそ」の位置の知覚レベルの有無が一つの判断基準となり、背もたれのない座位の状態で両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランス有り」と判断する
		14 下肢麻痺で座位バランスあり	
		15 その他	脳原性麻痺や脊髄麻痺以外の車椅子使用者(例:両下肢切断のため車椅子を使用している者)

第2回広島県障害者陸上競技大会 障害区分・種目一覧表 No.2-2

■肢体不自由3

脳原性麻痺（脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等）	車椅子	16	四肢麻痺で車椅子使用	四肢に著しい可動域制限や麻痺等の障害がある者で両上肢駆動による車椅子使用者
		17	けって移動	両上肢の障害が重度のため両下肢または片下肢で車椅子を駆動させる者
		18	上下肢で車椅子使用	日常動作において片側の upper limb と下肢で車椅子を操作する者
		19	上肢で車椅子使用	上肢による車椅子使用者【注:軽度な上肢の麻痺があっても車椅子駆動が可能な場合はこの区分に該当する】
	立位	19	その他走可能	杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることをできない者
		21	上肢に不随意運動を伴う走可能	目的動作に障害のある上肢協調運動障害があるが、走ることが可能な者
		22	その他走可能	「上肢に不随意運動を伴う走可能」に該当しない走可能な者すべてがこの区分に該当する
その他	23	電動車椅子常用	四肢体幹機能障害等により日常的に電動車椅子を使用している者	

■視覚障害

視覚障害	24	視力0から光覚弁まで	視力は、両眼の和ではなく、矯正後の良い方の目の視力で判定する
	25	視力手動弁から0.03まで 視野5度以内	
	26	その他	

■聴覚・平衡機能障害、音声・言語機能障害、そしゃく機能障害

聴覚・平衡機能障害、 音声・言語機能障害、 そしゃく機能障害	27	聴覚障害	障害の程度による区分なし
--------------------------------------	----	------	--------------

■知的障害

知的障害	28	知的障害	障害の程度による区分なし
------	----	------	--------------

■内部障害

内部障害	29	ぼうこう又は直腸障害	脊髄損傷等で合併した直腸・ぼうこう機能障害者は含まない
------	----	------------	-----------------------------

参加申込時の注意事項

(必ずお読みください)

【申込書記入】

- ①参加申込書は競技を公平かつ円滑に行うために必要なものとなるので、正確に記入すること。
(提出後、担当者が各項目について確認することがある)
- ②各種目のエントリー、障害区分番号においては「障害区分・種目表 No1・No2」に従って記入すること。(障害区分によってエントリーできない種目もある)

【エントリー】

- ①平成20年度から日本障害者スポーツ協会により競技規則が改定された競技種目及び障害区分の変更などがある。
- ②内部障害者はぼうこう又は直腸機能障害のみを対象とする。
- ③区分番号 24, 25 (視覚障害) の者は 50m と 100m の両方に申し込むことはできない。
- ④立幅跳と走幅跳の両方に申し込むことはできない。

【各種目】

- ①トラック競技の 50m, 100m, 200m, 400m について、スターティングブロックの使用を希望する者は、申込書の所定の欄に記入すること。なお、陸上競技用スパイクシューズの使用を認める。
- ②視覚障害者で伴走者の必要な人は、各自で手配し、申込書所定の欄に記入すること。
選手の伴走者として陸上競技場内に入る場合は、主催者の用意した伴走者用ビブスを着用すること。(競技終了後、必ず返却すること)

【選手介助】

- ①選手の介助者として陸上競技場内に入る場合は、主催者の用意した介助者用ビブスを着用すること。申込書の所定の欄に記入すること。(競技終了後、必ず返却すること)

【その他】

- ①ナンバーカード (ゼッケン) は、主催者で用意する。(競技終了後、必ず返却すること)
- ②手話通訳・要約筆記は、開・閉会式時、競技場所、表彰時などで対応するので、希望する者は所定の欄に記入すること。

第2回広島県障害者陸上競技大会 申し合わせ事項及び注意事項

日本陸上競技連盟競技規則に準じ、全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会申し合わせ事項に基づき実施する。

1 招集

- (1) 招集場所は、2か所設ける。(出場種目により、招集場所が違うので注意すること。)
- (2) 招集は、競技開始10分前に点呼を行い終了する。招集終了時刻に遅れた競技者は棄権したものとみなし、競技に出場できない。ただし、同時時間帯で競技種目が重複している場合はこの限りではない。また、最終点呼の代理は認めない。
- (3) 招集は原則として、各競技者の責任において招集場所に集合する。

2 競技者の服装

- (1) 競技を行うときは、競技用の服装(ランニングシャツ、トレーニングシャツ等)または運動しやすい服装を着用しなければならない。
- (2) ナンバーカードは、主催者が交付したものを競技用服装の上衣の胸部及び背部に付ける。ただし、走り高跳の競技者は胸部、背部のどちらかにつければよいこととし、車いす使用競技者は、車いすの見やすい位置に取り付けてもよい。
- (3) 競技用靴については、陸上競技用スパイクシューズの使用を認める。危険(けが)の防止上「はだし」での競技参加は認めない。スパイクの長さは9mmを超えてはならない。

3 競技場の入退場

- (1) 招集場所は、出場種目により招集場所A及び招集場所Bに分かれているので十分に留意すること。
- (2) 競技場内へは、原則として競技者、介助の許可を受けた者、伴走の許可を得た者、大会役員、競技役員等以外は入場することはできない。
なお、介助の許可を受けた者、伴走の許可を得た者は必ずビブスを着用して競技者とともに競技場内に入場すること。

4 競技方法

- (1) 50m走、100m走、200m走、400m走は、セパレートレーンとし、内側のレーンに入った場合は失格とする。ただし、曲走路外側及び直線については、他の競技者を妨害しない限り失格としない。
800m走は、原則としてスタート後100mまではセパレートレーンで行う。
- (2) 競争競技で故意に他の競技者を妨害した場合は、その競技者を失格させる。
なお、この場合の再レースは行わない。
- (3) セパレートレーンで行う視覚障害者のトラック競技で、伴走者を希望する競技者には1競技者に2レーンを割り当てる。
- (4) 視覚障害者の50m走に出場する競技者ハンディホーンの音響(電子音)を用いる。

- (5) 競技運営の関係上、練習時間を取らずに直接競技に入ることがある。(各自の責任によりウォーミングアップを行っておくこと。)
- (6) 視覚障害者(障害区分24・25)跳躍種目や投てき種目については、必要に応じて競技役員または競技補助員が方向を指示する。
- (7) 走り高跳のバーの最初の高さは、競技者の希望を参考に障害区分ごとに決定する。バーの上げ方は、参加競技者の状況に応じて審判長が決定する。
- (8) 投てきに使用する競技用具は、主催者が用意するものとする。
- (9) 投てき競技の試技は3連投する場合がある。
- (10) 知的障害者(障害区分28)及び視覚障害者(障害区分24・25)の走り幅跳は、踏切板の大きさは幅1.25m・長さ1mで、着地点と踏切の延長線との最短距離を計測する。踏切板の手前で踏み切った場合には、着地点と踏切板の砂場より最も遠いほうまでの最短距離を計測する。

5 その他

- (1) 表彰は、1位から3位については賞状及びメダルを授与する。
なお、2種目の競技時間の重複により表彰に出席できない場合は、別途賞状及びメダルを授与するので大会本部で受け取ること。
- (2) 競技中のけがの対応については、応急処置のみとする。
- (3) 競技場内、観客席等はすべて禁煙のため、競技場入口外の灰皿の設置してある場所で行うこと。
- (4) 競技終了後、使用したナンバーカードは返却すること。(大会本部または招集場所A・B)
- (5) 競技運営上、昼食時間は特に設けないので、各自、競技に影響のない時間に昼食をとること。

第2回広島県障害者陸上競技大会改正の概要

1 新たな障害者の競技・種目導入

1) 内部障害者（ぼうこう・直腸機能障害）

①走競技

50m, 1500m

②跳躍

立ち幅跳び, 走り幅跳び

③投てき

ソフトボール投げ, ジャベリックスロー

2 競技の改正

1) 新種目

①ジャベリックスロー（300g, 70cm）

2) 廃止の種目

①障害急歩 ②60m走 ③500m走 ④三段跳び

⑤ハンドボール投げ ⑥こん棒投げ ⑦やり投げ ⑧スラロームⅠ&Ⅱ

3) 改正

①スラローム

4) その他

障害区分ごとの参加種目の見直し

4×100mリレーは男女混合とする。

※ 新種目の概要

【ジャベリックスロー】

この競技は、これまでのやり投げやハンドボール投げに変わる競技で、知的障害がある人の投てき種目としても追加されました。

本来やり投げ練習用器具として使われていた「ターボジャブ」という用具を投げ、距離を競います。

【スラローム】

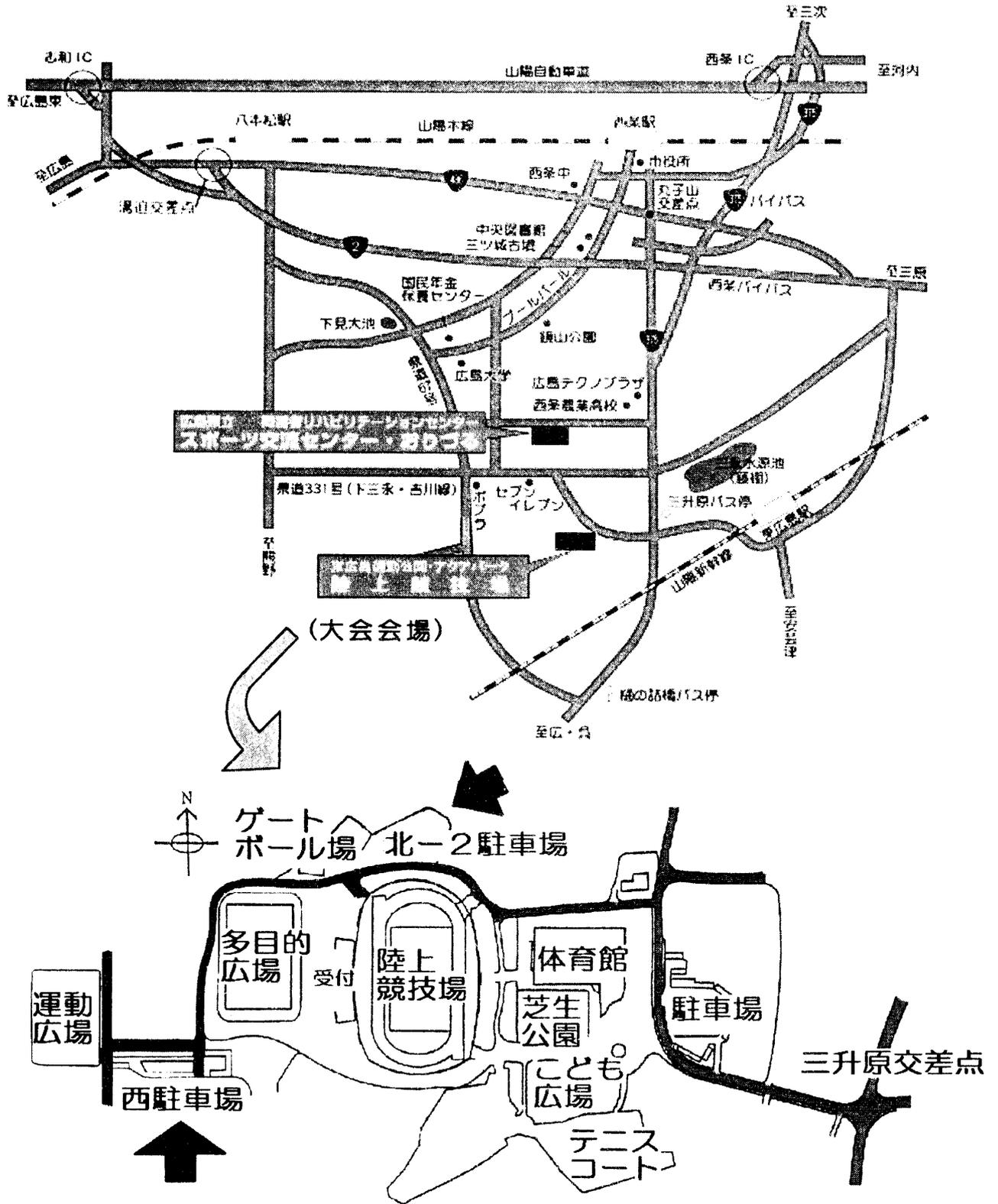
この競技は、これまで実施されていた、スラローム 1, 2 が実質的に統合され、大幅にコース設定が変更になりました。頸髄損傷や脳性麻痺の車いす使用者、電動車いす使用者の種目です。車いすを巧みに操作して旗門を通過し、タイムを競います。

第2回広島県障害者陸上競技大会地区・地域一覧表

(平成20年3月1日現在)

地区名	地域名
安芸・呉地区	呉市・江田島市・府中町・海田町・熊野町・坂町
西部地区	大竹市・廿日市市
山県・高田地区	安芸高田市・安芸太田町・北広島町
中南部地区	竹原市・東広島市・大崎上島町
備南地区	三原市・尾道市・世羅町
東部地区	福山市・府中市・神石高原町
備北地区	三次市・庄原市

大会会場および周辺地図



※ 西駐車場・北-2駐車場をご利用ください。

◎公共交通機関のご案内(※JRバスについてはダイヤ改正予定のため利用予定の方は3/15以降に改めてお問い合わせください)

	JR新幹線	JR山陽本線	JRバス
広島・福山方面からお越しの方	●東広島駅下車 ●大会会場までタクシーで約5分	●西条駅下車 ●大会会場までタクシーで約15分	西条駅⇒三升原 7:45⇒8:00 8:20⇒8:35
呉方面からお越しの方	—	—	呉駅⇒広島⇒三升原 6:55⇒7:20⇒8:04

※三升原のバス停から大会会場まで徒歩で約10分かかります。

※呉駅から三升原までのバスは雨天時、時刻が遅れる場合があります。

第2回広島県障害者陸上競技大会

兼 第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ! おおいた大会」広島県代表選手選考会

日時 平成20年5月11日(日) 9:20~16:00

会場 東広島運動公園陸上競技場 (アクアパーク)

飛び出そう!!

新たなステージへ

申込締切日

4月8日(火)

- 主催 広島県 広島県障害者社会参加推進センター 社団法人広島県身体障害者団体連合会 社団法人広島県手をつなぐ育成会
広島県知的障害者福祉協会 広島県障害者リハビリテーションセンタースポーツ交流センター
- 主管 広島県障害者陸上競技大会実行委員会
- 後援 (予定) 社団法人広島陸上競技協会 広島県議会 広島県教育委員会 社団法人広島県社会福祉協議会 広島県市長会
広島県町村会 東広島市 東広島市陸上競技協会 東広島市教育委員会 社団法人東広島市社会福祉協議会
中国新聞社 社団法人中国新聞社会事業団 NHK広島放送局 中国放送 広島テレビ 広島ホームテレビ
テレビ新広島
- 協力 (予定) 東広島市陸上競技協会 広島県立西条農業高等学校陸上競技駅伝部 広島県立賀茂高等学校陸上競技部
広島県立黒瀬高等学校 広島大学教育学部・総合科学部 広島国際大学医療福祉学部 呉大学看護学部
独立行政法人国立病院機構東広島医療センター附属看護学校 公認障害者スポーツ指導者 登録ボランティア
- 協賛 (予定) コカ・コーラウエストジャパン株式会社

問い合わせ先

〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3 スポーツ交流センター

TEL 082-425-6800 FAX 082-425-6789

ホームページ <http://www.rehab-hiroshima.gr.jp/Oridsuru/index.htm>

Eメール oridsuru@rehab-hiroshima.gr.jp

